

高齢者交通事故防止の取組みに徳島県・後藤田知事から御礼挨拶

～日本損害保険協会・大知専務理事と徳島県・後藤田知事が交通安全や防災などで意見交換～

日本損害保険協会四国支部では、12月20日（金）、当協会・大知久一専務理事が徳島県庁を訪問して、徳島県・後藤田正純知事に、「反射材付き交通安全啓発チラシ」を3,000部贈呈しました。

大知専務理事から、「日本損害保険協会は、安心・安全な社会の実現のため、交通事故防止を重点取組みの1つとして掲げて、積極的に取組みを進めています。残念ながら、徳島県は、2年連続で、人口10万人あたりの交通事故死者数が全国で最も多い状況であるとうかがっています。これから日暮れの時間が早まり、あわただしい年末を迎えるにあたって、さらに交通事故が増加する恐れがあります。そこで、この度、3千部の「反射材付きチラシ」を徳島県に贈呈して、交通安全啓発活動にご活用いただくこととなりました。すでに、この「反射材付きチラシ」は、徳島県警に4千部贈呈させていただいており、先週13日に、徳島県警や県内の3大プロスポーツ団体と連携して実施した交通安全啓発活動でもご活用いただいております。徳島県のみなさまが、反射材を靴やカバンに貼り付けていただくことで、少しでも交通事故が減少することを願っています」と挨拶がありました。次いで、大知専務理事から、徳島県・後藤田知事に目録が手渡されました。

後藤田知事から、「徳島県民のためにありがとうございます。交通事故が多発しているので大切に使用させていただきます」と挨拶がありました。その後、大知専務理事と後藤田知事との間で、交通安全啓発活動や防災に関する取組みなど幅広い分野で活発な意見交換がなされました。

当支部では、引き続き、徳島県をはじめ関係先との連携を強化して、交通事故防止に関する活動に取り組んでいきます。



後藤田知事（左）と大知専務理事



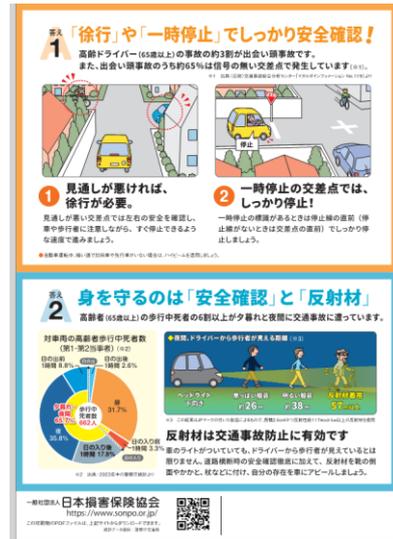
後藤田知事（左）に目録を渡す大知専務理事



意見交換の様子



反射材付き交通安全啓発チラシ表面



チラシ裏面